

2026年4月28日

\*本リリースは、AUDI AG 配信資料の翻訳版です。

\*本資料に記載の装備、諸元データは、いずれもドイツで販売予定のもので、日本仕様とは異なります。

## Audi Q4 e-tron：アウディの電気自動車ベストセラーがアップグレード

- 新しいインテリア、最新のインフォテインメント、拡張されたデジタル機能により、さらに没入感の高いユーザーエクスペリエンスを提供
- 一充電走行距離の向上と充電容量の拡大によりさらにパワフルな電動 SUV に
- 進化した運転支援システム、クオリティの向上、牽引能力の拡大、そして双方向充電の採用により、実用性をさらに最適化

(ドイツ本国発表資料) 2026年4月27日、インゴルシュタット：アウディは、電気自動車のベストセラーモデル Audi Q4 e-tron に、数々の新機能を搭載しこれまで以上に多くの用途に対応するモデルへと進化させます。再構築されたデジタルステージを備え、直感的な操作性と豊かな空間でつくられたインテリアは、刷新されたモデルの魅力を印象づけます。エクステリアは、この電動クロスオーバーがよりシャープなデザインと新しいライティング機能を備えています。一充電走行距離の向上、充電性能の強化、より直感的な操作性により、このモデルの日常生活での利便性がより高まりました。さらに、Audi Q4 e-tron には、電気機器への電力供給や家庭用エネルギー貯蔵の機能も搭載されています。これはアウディで初めての機能です。

「今回のプロダクトアップグレードにより、Audi Q4 e-tron は外観がよりモダンで印象的になっただけでなく、改良されたインテリアも魅力となっています」と、AUDI AG セールスおよびマーケティング担当取締役 マルコ シューベルト (Marco Schubert) は述べています。「新機能と数多くの改良が装備された Audi Q4 e-tron は、アウディブランドへの電動エントリーモデルとして、ファミリー層とフリートカスタマーの双方にとって、より魅力的なものとなります」。

Audi Q4 e-tron は、双方向充電に対応したアウディ初のモデルです。高電圧バッテリーは、電力網からエネルギーを受け取るだけでなく、外部機器へ電力を供給することが可能です。V2L (Vehicle-to-Load) では、トランク内の電源ソケットや充電ポートに接続したアダプターを介して、例えば電動アシスト自転車の充電が可能です。ドイツ、オーストリア、スイスでは、Audi Q4 e-tron が V2H (Vehicle-to-Home) に対応し、蓄電した電力を家庭に供給する家庭用バッテリーとしても機能します。これは太陽光発電の自家消費を最適化する上で、特に有効です。

日常の使用において、電気自動車 (EV) の駆動システムが大幅に向上したことによる利便性を感じられます。例えば、改良された Audi Q4 Sportback e-tron performance はより高効率な電動モーターにより、最大 592 km の一充電走行距離を実現します。Audi Q4 SUV e-tron quattro performance および Audi Q4 Sportback e-tron quattro performance の充電受入性能は、最大 175 kW から 185 kW へ向上しています。これにより長距離走行のための充電時間は短縮され、一部のモデルでは高電圧バッテリーの 10% から 80% までの充電が約 27 分となります。Audi Q4 Sportback e-tron quattro performance では、わずか 10 分で約 185 km の航続距離を充電することが可能です。さらに、充電性能向上をさせるために、自動または手動でバッテリーのプレコンディショニングが可能です。

アウディは Audi Q4 e-tron に SUV と Sportback の 2 つのボディスタイルを設定し、それぞれに総電力容量 63 kWh と 82 kWh の 2 種類のバッテリー容量を用意します。quattro モデルの牽引能力が 1,800 kg (+400 kg) に向上し、電動テールゲートを標準装備、さらにラゲッジ容量は 515 リッターになり、日常における実用性が向上しています。また、リヤシートを倒すことで、荷室容量は最大 1,487 リッターまで拡大します。

新しいインテリアでは、快適性と柔軟性が大幅に向上しています。このインテリアは S line としてオプション選択が可能です。広々としたキャビンの中心にはデジタルステージがあります。11.9 インチのインストルメントクラスターと 12.8 インチの MMI タッチディスプレイで構成されるパノラミックディ

ディスプレイは、あらゆる情報を明確に表示します。さらに、オプション設定の 12 インチのパッセンジャーディスプレイは、スタンバイ表示のカスタマイズが可能です。

新しいワンコネクテッドインフォテインメント (One Connected Infotainment) が、快適性とエンターテインメント機能を強化します。インテリジェントなオーディオアシスタントは、音声操作により車両機能を制御し、ログブックに関する質問にも回答します。ChatGPT の統合により、情報を検索したり、Audi Q4 e-tron と自然な対話が可能です。ダイナミックインタラクションライト、新しいセンターコンソール、そして冷却機能付きワイヤレス充電トレイ (2 基、各 15 W 出力) により、快適性と雰囲気はさらに向上しています。ドアからダッシュボード全体に広がるソフトラップは、統一感のあるプレミアムな空間を演出し、縦型エアベントがコックピットの横方向の広さを際立たせています。

オーディオはライティングテクノロジーもさらに進化させました。フロントにはセグメントテクノロジーを用いたデジタル LED デイタイムランニングライトが搭載され、MMI を通じて選択可能なデジタルライティングネチャーは、一目でオーディオと認識させます。第 2 世代デジタル OLED リヤライトは安全性と機能性を向上させると同時に、力強いデザイン表現を実現します。さらに、オプションの近接警告ライティングは、他の車両の接近を警告します。

新モデルは 5 月に欧州で受注開始され、納車は夏を予定しています。

### 双方向充電：双方向で未来に備える

Audi Q4 e-tron は、双方向充電に対応するオーディオ初のモデルです。このモデルは V2L により車両から電気機器に直接電力を供給します。電力はトランク内の家庭用電源ソケット (AC 230 V、連続出力 2.3 kW)、またはサイドの充電ポートに接続するオプションのアダプターを介して供給されます。アダプターは、家庭用 2.3 kW またはキャンピング用 3.6 kW を設定しています。ドイツ、オーストリア、スイスでは、V2H にも対応しており、高電圧バッテリーは例えば太陽光発電システムなどと連携し、家庭用エネルギーの貯蔵装置の補助として機能します。

V2H による双方向充電の際には、Audi Q4 e-tron の高電圧バッテリーからの電力は、対応する DC ウォールボックスを介して家庭へ供給されます。

車両のバッテリー残量 (SoC) が 20% から 80% の間で電力供給が可能です。V2H および V2L の放電量は走行距離換算として計算され、車両内では仮想オドメーターに表示されます。満充電 (100% 充電) にするには、2 通りの方法があり、出発時刻に合わせて充電を完了させる設定、または即時のフル充電開始のいずれかから選択することが可能です。

Audi Q4 SUV および Sportback e-tron quattro performance に搭載される 82 kWh バッテリーの DC 充電の受入性能は、175 kW から最大 185 kW へと向上しています。これにより、急速充電ステーションにおいて、10% から 80% までをわずか 27 分で充電することが可能です。さらに、10 分間で最大 185 km 分の航続距離を充電することができます。また、Plug & Charge も新たに標準装備として導入されています。対応する充電ステーションでは、ケーブルを接続すると車両が自動的に Audi charging contract を用いて認証を行って充電プロセスを開始し、セッション終了時には自動的に課金処理まで行われます。

### さらに効率を高めたドライブシステム

Audi Q4 e-tron は、後輪駆動および quattro 四輪駆動のいずれの場合でも、リヤアクスルに 2 種類の出力バリエーションの永久磁石同期モーター (PSM) を搭載し、高効率を実現します。新しい「APP350」電動モーターは、効率を高める様々な技術を採用し、Audi Q4 e-tron と Audi Q4 e-tron quattro の一充電走行距離の向上とトルクの増大を実現しています。

電動モーターのアップデートのひとつは、新開発のパワーエレクトロニクスです。パルスインバーターにはシリコンカーバイド半導体を採用することで、スイッチング損失を低減し、特に部分負荷領域における効率を向上させます。さらに、新しいソフトウェア機能によって消費電力を最適化します。高度な変調技術により、バッテリー電圧が低下した場合でも直流電圧をより有効に活用し、高出力を実現します。全体の効率は従来モデルと比較して約 10% 向上しています。

トランスミッションの効率も向上しています。新たに開発された低粘度潤滑油は、高い耐久性を維持しながらも摩擦損失の低減を実現します。特に低温環境において、この潤滑油のみでも満充電時の航続距離を最大 12 km 延ばすことが可能です。

これらすべての効率向上により、一充電走行距離は大幅に延伸しました。後輪駆動の Audi Q4 SUV e-tron および Audi Q4 Sportback e-tron で、63 kWh（正味容量 59 kWh）150 kW 出力の高電圧バッテリー搭載モデルでは、航続距離が約 30 km 延伸しました。四輪駆動モデルでは、仕様に応じて 16 km から 32 km の向上を実現しています。

### ダイナミックで調和のとれたエクステリア

Audi Q4 e-tron のエクステリアは、よりモダンで表現力のあるデザインとなりました。短いフロントオーバーハング、大径ホイール、ワイドなスタンス、そして力強いサイドパネルが、ダイナミックなプロポーションをつくり出しています。高く直立したフロントの中心には、ボディと同色仕上げのシングルフレームを配置しています。S line 仕様では、フロントおよびリヤバンパーのコーナーに、マット仕上げのセレナイトシルバーの縦型ブレードが追加されます。ブラックエクステリアパッケージとの組み合わせでは、これらのブレードはハイグロスのミトスブラックとなります。

さらに、機能的なエアインテークは、フロントホイール周辺へ空気を導くことで、空気抵抗を低減します。バンパー内の専用ウイングエレメントは横方向の広がり強調し、統一感のある外観を形成します。

Audi Q4 SUV e-tron では、ルーフエッジスポイラーが D ピラーの上部を仕上げます。ルーフ全体にわたって施されたブラックのアクセントストリップが、リヤルーフをボディから視覚的に分離し、フローティングルーフの印象を与えます。このようなディテールが、この車両のダイナミックな存在感をさらに際立たせています。リヤの水平ラインは視覚的なワイド感を強調し、より高く直立した印象です。新設計のリヤスポイラーは空力性能を向上させ、高く配置された新デザインのディフューザーが、スポーティな仕上がりをもたらします。新しいエクステリアカラー 3 色と新しいホイールデザイン 5 種類によって、カスタマイズが可能です。

### パーソナライゼーションと安全性を高める新しいライティング機能

アップグレードされた Audi Q4 e-tron は、夜間においてその存在感を際立たせます。フロントのセグメントテクノロジーを採用したデジタル LED デイタイムランニングライトが、MMI を通じて選択可能なライティングネチャーを形成します。リヤには第 2 世代デジタル OLED リヤライトが搭載され、新型 Audi Q4 e-tron ファミリーにおけるライティングデザイン、機能性、安全性の水準をさらに引き上げます。近接警告ライティングは、停車中の車両に後続車が接近しすぎた場合に警告を発します。同時に、この電動 SUV は、パーソナライゼーションにおいても新たな基準を打ち立てます。オプションのマトリクス LED ヘッドライトおよびデジタル OLED リヤライト 2.0 との組み合わせにより、最大 4 種類のデジタルライティングネチャーが選択可能になります。また、ライティングネチャーは走行中も動きを持続します。ダイナミックな表現を実現するため、合計 284 セグメントを備える 6 枚のデジタル OLED パネルと専用アルゴリズムによって、デジタル OLED リヤライトは 1 秒間に複数回、新しいライトパターンを生成します。リヤは、車両と周囲環境が呼応するようなダイナミックな外観です。

### 実用性と広さを両立したインテリア

キャビンの中核には、ドライバーを中心に設計されたデジタルステージがあります。11.9 インチのインストルメントクラスターと 12.8 インチの MMI タッチディスプレイを組み合わせたパノラミックディスプレイには、大型のタイル表示をすることで機能やサービスの概要を迅速に把握できます。このセグメントでは初めて、オーディオ史上最大のサイズ 12 インチのパッセンジャーディスプレイをオプション設定し、カスタマイズ可能なスタンバイデザインを特徴としています。パッセンジャーディスプレイ非装着時でも、高品質なデコラティブサーフェスがこのエリアの上質感を高めます。また、Audi Q4 e-tron はオプションで AR ヘッドアップディスプレイの装備が可能です。直感的な視認性を高めることができます。このシステムはフロントウインドウ上に情報を 2 層構造で投影します。AR レイヤーでは、ナビゲーションの進行方向を示す矢印や出発地点および目的地、選択された運転支援システムからの指示が、実際の走行環境に重ねて、適切な位置に表示されます。これらの表示要素は、状況に応じてドライバーの約 10 m 前方、あるいはそれ以上先の位置に浮かんで見えます。ドライバー視点では、AR コンテンツの表示領域

は対角約 70 インチです。その下のステータスレイヤーでは、速度、交通標識、運転支援およびナビゲーションの各種アイコンが、ドライバーの約 3m 前方に視覚的に表示されます。

ダッシュボードはすっきりと構成され、空間の広がり強調します。縦型エアVENTがダッシュボードを縁取るように配置され、低く統合されたドアハンドルと視覚的につながります。スマートフォン向けの充電口は合計 4 か所で、冷却機能付きワイヤレス充電トレイが 2 基（各トレイ最大 15 W）と、センターアームレスト下の USB-C ポートが 2 基備わっています。さらに、リヤにはオプションとして USB-C ポート 2 基を追加することも可能です。

スペースに関して、Audi Q4 e-tron はフルサイズ SUV に匹敵する広さを実現しています。フロントは開放感にあふれ、リヤは十分なレッグルームを確保しています。これは電動プラットフォームとして設計された技術により実現されました。各所に収納スペースが設けられ、収納容量は合計約 25 リッターです。515 リッター（リヤシート格納時最大 1,487 リッター）のラゲッジ容量に加え、1,800 kg へと向上した牽引能力で、日常での実用性をいっそう高めています。最大垂直荷重は 90 kg となっています。

インテリアの上質感は、ニーパッドのクッション性、プレミアムなステッチ、耐傷性に優れた表面などのディテールによって、さらに高まっています。センターコンソールは上昇して、ダッシュボードとリヤシートまでをシームレスにつなぎ、スポーティな印象を形成します。オプションのアンビエントライトパッケージ plus および pro は夜間の印象的な雰囲気演出します。ホワイトのアンビエントライトは標準装備となっています。マーカーライトはダッシュボードおよびセンターコンソールのラインを際立たせます。さらにオプションのダイナミックインタラクティブライトは、フロントウインドウ下部に配置され、雰囲気を高めるとともに、操作性と安全性の向上に寄与します。Sonos プレミアムサウンドシステムも選択可能で、スポーツシートは標準装備です。サードパーティ製アプリは、スマートフォンを必要とせず、MMI の Audi Application Store 経由で直接アクセスすることが可能です。多くの車両機能はインテリジェントなオーディオアシスタントにより制御可能です。AI を搭載した音声アシスタントは車両に完全統合されており、ヘッドアップディスプレイまたはオーディオバーチャルコックピット上にアイコンで表示されます。認識された入力内容は、インストルメントディスプレイにも表示されます。

Audi Q4 e-tron のインフォテインメントシステムは、Android Automotive OS を基盤としています。

### 新しい運転支援システムで、安全性と利便性を向上

アップグレードされた Audi Q4 e-tron は、日常走行をより容易かつ安全にする運転支援システムが搭載されています。仕様に応じて、テクノロジー、テクノロジー-plus、テクノロジー-pro の各パッケージが選択できます。市場導入時の標準装備には、距離表示付パーキングシステムプラス、クルーズコントロール（スピードリミッターを含む、アダプティブクルーズコントロール準備機能付）、エマージェンシーアシスト付レーンデパーチャーワーニング、交通標識認識、ドライバーモニタリング付注意力・疲労警告、回避支援およびターンアシスト、フロントクロストラフィックアシスト、フロントエマージェンシーブレーキアシストを含むアクティブフロントアシストが含まれます。

さらに、アダプティブドライビングアシスタントプラスが快適性を高めます。このシステムは加速、減速、速度および車間距離の維持、レーン維持をサポートします。90 km/h 以上では、高速道路における車線変更も支援し、ドライバーは MMI を通じて機能を有効化することができます。インストルメントクラスターおよびヘッドアップディスプレイ上の矢印で、車線変更の可否をドライバーに示し、ウインカー操作が行われるとステアリング操作を積極的にアシストします。さらに、オンラインデータの活用によって、レーンマーキングが視認できない状況での車線維持も可能となり、郊外道路や都市部での走行時における快適性を高めます。オンラインデータの利用は納車後 3 年間です。

オプションのトレインドパーキング、リバースアシスト、パークアシストプラス、4 つのワイドアングルサラウンドビューカメラは、特に都市部での利便性を大幅に向上させます。交通標識認識は一時停止や工事、歩行者、動物、踏切などの注意喚起標識も表示します。

### 市場導入

新モデルは 5 月に欧州で受注開始され、納車は夏を予定しています。

フォルクスワーゲン グループ ジャパン株式会社  
アウディ ジャパン 広報部

報道関係者お問い合わせ：  
<https://audi-press.jp/contact/>

アウディ ジャパン プレスサイト  
<http://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ：  
アウディ コミュニケーション センター  
0120 - 598106



---

## アウディについて

アウディは、インテリジェントで電動化された製品を通じて変革を推進し、未来のモビリティを創造しています。このプレミアム自動車ブランドは、世界 100 以上の市場で展開されています。そのグローバルな生産ネットワークは 13 カ国 22 拠点に及び、8 万 8,000 人以上の従業員が **Vorsprung durch Technik (技術による先進)** の精神のもと結束し、勇気、情熱、責任、そして信頼により、100 年以上にわたる自動車製造の伝統を未来に向けて再解釈しています。2026 年、アウディはモータースポーツの DNA を大胆に体現すべく、ファクトリーチームとして Formula 1 に参入します

また、アウディ グループには、スーパーカーメーカーのランボルギーニ、ラグジュアリーブランドのベントレー モーターズ、そしてモーターサイクルメーカーのドゥカティが含まれます。

アウディ グループの詳細については、[こちら](#)をご覧ください。

---